

第4編

農林水産業の展望 ～10年後の姿～

1 主要指標（基本フレーム）

（1） 農 業

農家戸数や農業就業者数は減少すると見込まれますが、地域農業を牽引する経営力の高い担い手の育成、マーケットに対応した効率的な生産体制の確立、農産物のブランド化・高付加価値化の推進などにより、農業の食料供給力の強化を目指します。

（2） 林 業

低コストで安定的な木材の生産・流通体制を構築するとともに、木材製品の加工・流通体制の強化、国内外における県産材の販路拡大を進め、川上から川下まで一体となった木材総合加工産地の確立を目指します。

（3） 水産業

つくり育てる漁業の推進による魚介類資源の維持・増大、スマート漁業や蓄養殖の推進による操業の効率化・安定化、漁師直売の拡大などによる販売力の強化や高付加価値化の実現により、水産業の持続的な発展を目指します。

項目		基準年		R7年	R11年	増減率	
		(A)	(B)	(C)	(B/A)	(C/A)	
産出額 (億円)	農業産出額	R1	1,931	2,000	2,100	103.6%	108.8%
	林業産出額	R1	162	219	232	134.9%	143.5%
	うち生しいたけ	R1	36	49	51	134.8%	140.2%
	漁業産出額	R1	26	27	28	103.7%	108.1%
	計		2,119	2,246	2,361	106.0%	111.4%
農林漁家 (戸)	総農家数	R2	37,116	34,688	31,074	93.5%	83.7%
	認定農業者数	R2	9,246	8,354	7,760	90.4%	83.9%
	集落型農業法人数	R2	353	381	400	107.9%	113.3%
	漁業経営体数	H30	632	400	322	63.3%	50.9%
労働力 (人)	農業就業者	R2	38,047	30,913	26,160	81.2%	68.8%
	林業従事者数	R1	1,360	1,389	1,428	102.1%	105.0%
	漁業就業者数	H30	773	541	463	70.0%	59.9%
生産基盤 (ha)	耕地面積	R1	147,100	144,450	142,650	98.2%	97.0%
	スギ人工林整備面積	R1	6,971	7,474	8,468	107.2%	121.5%

2 産出額

(1) 農業産出額

- 主要作目の作付面積・生産量・単価の推計をベースに産出額を推定しました。
- 農業産出額は令和7年で2,000億円、令和11年で2,100億円を見込んでいます。
- 大規模園芸拠点を核としたえだまめやねぎなどの園芸産地の拡大や、大規模畜産団地による豚や肉用牛の生産基盤の強化などにより、野菜や畜産の産出額の増加を見込んでいます。
- 一方、米については、複数年続くとみられる米価下落の影響や需要に応じた生産により、基準年を下回ることを見込んでいます。

(2) 林業産出額

- 木材生産量・需要量・単価の推計をベースに産出額を推定しました。
- 皆伐の増加に伴う素材生産量の増加や、菌床しいたけの生産拡大などにより、林業産出額は令和7年で219億円、令和11年で232億円を見込んでいます。
- 特用林産物である生しいたけについては、令和元年度及び2年度に京浜中央卸売市場における「販売量・販売額・販売単価」の三冠王を達成しており、令和7年で49億円、令和11年で51億円を見込んでいます。

(3) 漁業産出額

- 主要魚種の漁獲量・単価などによるすう勢値をベースに、スマート漁業・蓄養殖・オンライン販売など新たな取組による増加を考慮して、産出額を推定しました。
- アワビ・トラフグ等の収益性の高い魚介類資源の維持、適切な資源管理によるハタハタの漁獲量の回復、蓄養殖や漁師直売の推進による生産の安定化や高付加価値化により、漁業産出額は28億円(基準年対比108%)を見込んでいます。

(単位：億円)

項目	R1年 基準年 (A)		R7年 (B)		R11年 (C)		増減率		増減	
							(B/A)	(C/A)	(B-A)	(C-A)
農業産出額	1,931	100.0%	2,000	100.0%	2,100	100.0%	103.6%	108.8%	69	169
米	1,126	58.3%	1,012	50.6%	1,046	49.8%	89.9%	92.9%	△114	△80
野菜	290	15.0%	360	18.0%	390	18.6%	124.1%	134.5%	70	100
果樹	84	4.4%	81	4.1%	84	4.0%	96.4%	100.0%	△3	0
花き	28	1.5%	33	1.7%	35	1.7%	117.9%	125.0%	5	7
畜産	362	18.7%	475	23.8%	503	24.0%	131.2%	139.0%	113	141
その他	41	2.1%	39	2.0%	42	2.0%	95.1%	102.4%	△2	1
林業産出額	162	100.0%	219	100.0%	232	100.0%	134.9%	143.5%	57	70
うち生しいたけ	36	22.5%	49	22.5%	51	22.0%	134.8%	140.2%	13	15
漁業産出額	26	—	27	—	28	—	103.7%	108.1%	1	2

3 農家戸数

- 平成17年から令和2年までの15年間の変化をもとに回帰分析で推定しました。
- 総農家数は、令和11年には令和2年の約84%まで減少しますが、担い手への農地集積が進み、経営の大規模化の進展が見込まれます。

(単位：戸)

項目	R2年 基準年 (A)	R7年 (B)	R11年 (C)	増減率		増減	
				(B/A)	(C/A)	(B-A)	(C-A)
総農家数	37,116	34,688	31,074	93.5%	83.7%	△ 2,428	△ 6,042
うち販売農家数	27,780	24,671	21,278	88.8%	76.6%	△ 3,109	△ 6,502

4 労働力

(1) 農業就業者数

- 基幹的農業従事者は、平成27年から令和2年までの推移からコーホート法により、雇用者及び役員・構成員は、平成17年から令和2年までの推移から回帰分析により推定しました。
- 農業就業者は、令和7年で30,913人、令和11年で26,160人まで減少すると予想されます。

(2) 林業従事者数

- スギ人工林が本格的な伐期を迎え、素材生産量が増加する中、秋田林業大学校を核として、即戦力となる人材の確保・育成が進むことなどにより、林業従事者は増加していくと見込んでいます。

(3) 漁業就業人口

- 平成25年から平成30年までの推移からコーホート法及び回帰分析により推定しました。
- 新規就業者の確保等により、39歳以下の割合は、令和7年で18%、令和11年で22%になるものと見込まれます。

(単位：人)

項目	基準年 (A)		R7年 (B)		R11年 (C)		増減率		増減		
							(B/A)	(C/A)	(B-A)	(C-A)	
農業就業者	R2	38,047	100.0%	30,913	100.0%	26,160	100.0%	81.2%	68.8%	△ 7,134	△ 11,887
基幹的農業従事者	R2	33,720	88.6%	25,217	81.6%	19,847	75.9%	74.8%	58.9%	△ 8,503	△ 13,873
雇用者(常雇い)	R2	2,074	5.5%	2,457	7.9%	2,657	10.2%	118.5%	128.1%	383	583
役員・構成員 ※	R2	2,253	5.9%	3,239	10.5%	3,656	14.0%	143.8%	162.3%	986	1,403
林業従事者	R1	1,360	—	1,389	—	1,428	—	102.1%	105.0%	29	68
漁業就業者	H30	773	100.0%	541	100.0%	463	100.0%	70.0%	59.9%	△ 232	△ 310
15～39歳	H30	85	11.0%	99	18.3%	103	22.2%	116.5%	121.2%	14	18
40～64歳	H30	219	28.3%	143	26.4%	133	28.7%	65.3%	60.7%	△ 76	△ 86
65歳以上	H30	469	60.7%	299	55.3%	227	49.0%	63.8%	48.4%	△ 170	△ 242

5 生産基盤

- 耕地面積は、農地の開発・造成、農地のかい廃から推計して、令和7年で144,450ha、令和11年で142,650ha程度になると推定されます。
- スギ人工林整備面積は、間伐や下刈、枝打ち等で、令和7年に7,474ha、令和11年に8,468haの森林整備量を見込んでいます。

(単位：ha)

項目	R1年 基準年 (A)		R7年 (B)		R11年 (C)		増減率		増減	
							(B/A)	(C/A)	(B-A)	(C-A)
耕地面積	147,100	100.0%	144,450	100.0%	142,650	100.0%	98.2%	97.0%	△ 2,650	△ 4,450
田	128,900	87.6%	127,600	88.3%	126,720	88.8%	99.0%	98.3%	△ 1,300	△ 2,180
畑	18,200	12.4%	16,850	11.7%	15,930	11.2%	92.6%	87.5%	△ 1,350	△ 2,270
スギ人工林整備面積	6,971	—	7,474	—	8,468	—	107.2%	121.5%	503	1,497

新時代に笑顔が咲き誇る

令和元年	担い手の集積率 (%) 75.4% うち認定農業者 62.3%			
認定農業者 (13.5%) (法人) 19.8千ha 705法人	①土地利用型/集落型 (米、大豆主体) (5.8%) 8.5千ha / 192法人 (44ha/法人) ②複合型/集落型 (水稲+野菜・花き等) (3.7%) 5.5千ha / 127法人 (43ha/法人) ③土地利用型/個別 (米、大豆主体) (1.7%) 2.5千ha / 121法人 (21ha/法人) ④複合型/個別 (水稲+野菜・花き等) (1.4%) 2.1千ha / 80法人 (27ha/法人) ⑤園芸専作型 (野菜、花き、果樹) (0.5%) 772ha / 110法人 (7ha/法人) ⑥畜産専作型 (0.3%) 472ha / 75法人 (6ha/法人)			
認定農業者 (48.9%) (個別経営) 72.0千ha 9,061戸	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;"> 水稲が主 (26.2%) 38.5千ha / 3,777戸 (10.2ha/戸) </td> </tr> <tr> <td> 水稲+複合部門 31.8千ha (21.6%) (①野菜 25.2千ha / 3,866戸 (6.5ha/戸) ②花き 1.9千ha / 254戸 (7.5ha/戸) ③果樹 1.7千ha / 256戸 (6.8ha/戸) ④畜産 3.0千ha / 434戸 (6.8ha/戸)) </td> </tr> <tr> <td> 専作経営 1.6千ha (1.1%) (①野菜 417ha / 159戸 (2.6ha/戸) ②花き 114ha / 43戸 (2.7ha/戸) ③果樹 382ha / 153戸 (2.5ha/戸) ④畜産 714ha / 119戸 (6.0ha/戸)) </td> </tr> </table>	水稲が主 (26.2%) 38.5千ha / 3,777戸 (10.2ha/戸)	水稲+複合部門 31.8千ha (21.6%) (①野菜 25.2千ha / 3,866戸 (6.5ha/戸) ②花き 1.9千ha / 254戸 (7.5ha/戸) ③果樹 1.7千ha / 256戸 (6.8ha/戸) ④畜産 3.0千ha / 434戸 (6.8ha/戸))	専作経営 1.6千ha (1.1%) (①野菜 417ha / 159戸 (2.6ha/戸) ②花き 114ha / 43戸 (2.7ha/戸) ③果樹 382ha / 153戸 (2.5ha/戸) ④畜産 714ha / 119戸 (6.0ha/戸))
水稲が主 (26.2%) 38.5千ha / 3,777戸 (10.2ha/戸)				
水稲+複合部門 31.8千ha (21.6%) (①野菜 25.2千ha / 3,866戸 (6.5ha/戸) ②花き 1.9千ha / 254戸 (7.5ha/戸) ③果樹 1.7千ha / 256戸 (6.8ha/戸) ④畜産 3.0千ha / 434戸 (6.8ha/戸))				
専作経営 1.6千ha (1.1%) (①野菜 417ha / 159戸 (2.6ha/戸) ②花き 114ha / 43戸 (2.7ha/戸) ③果樹 382ha / 153戸 (2.5ha/戸) ④畜産 714ha / 119戸 (6.0ha/戸))				
今後育成すべき農業者 (5.4%)	8.0千ha / 5,194戸			
集落営農 (7.7%)	11.3千ha / 374組織			
その他農業者 (24.6%) 36.1千ha				

「攻めの農林水産業」を展開する担い手像

令和7年		担い手の集積率 (%)	85.0%
		うち認定農業者	74.4%
認定農業者 (23.6%) (法人) 34.1千ha 957法人	①土地利用型/集落型 (米、大豆主体) (11.3%) 16.4千ha/229法人 (72ha/法人) ②複合型/集落型 (水稲+野菜・花き等) (5.8%) 8.3千ha/152法人 (55ha/法人) ③土地利用型/個別 (米、大豆主体) (3.1%) 4.5千ha/222法人 (20ha/法人) ③複合型/個別 (水稲+野菜・花き等) (2.4%) 3.5千ha/136法人 (25ha/法人) ④園芸専作型 (野菜・花き・果樹) (0.6%) 916ha/130法人 (7ha/法人) ⑤畜産専作型別 (0.4%) 536ha/88法人 (6ha/法人)		
	認定農業者 (50.8%) (個別経営) 73.4千ha 7,397戸		
		水稲が主 (18.1%) 26.2千ha/2,024戸 (20ha/戸)	
		水稲+複合部門 (31.4%) 45.4千ha/4,861戸	
		(①野菜 35.6千ha/3,840戸 (9.3ha/戸) ②花き 2.7千ha/ 274戸 (9.8ha/戸) ③果樹 2.6千ha/ 275戸 (9.5ha/戸) ④畜産 4.5千ha/ 472戸 (9.5ha/戸))	
		専作経営 (1.3%) 1,865ha/512戸	
		(①野菜 497ha/173戸 (2.9ha/戸) ②花き 132ha/ 46戸 (2.9ha/戸) ③果樹 465ha/165戸 (2.8ha/戸) ④畜産 771ha/128戸 (6.0ha/戸))	
集落営農 (6.5%)		9.3千ha/226組織	
その他農業者 (19.1%)		27.6千ha	

誘導



新規就農者

新時代に笑顔が咲き誇る

令和元年		担い手の集積率 (%)	75.4%
		うち認定農業者	62.3%
認定農業者 (13.5%) (法人)	19.8千ha 705法人	①土地利用型/集落型 (米、大豆主体) (5.8%) 8.5千ha / 192法人 (44ha/法人)	
		②複合型/集落型 (水稲+野菜・花き等) (3.7%) 5.5千ha / 127法人 (43ha/法人)	
認定農業者 (48.9%) (個別経営)	72.0千ha 9,061戸	③土地利用型/個別 (米、大豆主体) (1.7%) 2.5千ha / 121法人 (21ha/法人)	
		④複合型/個別 (水稲+野菜・花き等) (1.4%) 2.1千ha / 80法人 (27ha/法人)	
		⑤園芸専作型 (野菜、花き、果樹) (0.5%) 772ha / 110法人 (7ha/法人)	
		⑥畜産専作型 (0.3%) 472ha / 75法人 (6ha/法人)	
		水稲が主 (26.2%) 38.5千ha / 3,777戸 (10.2ha/戸)	
		水稲+複合部門 31.8千ha (21.6%) (①野菜 25.2千ha / 3,866戸 (6.5ha/戸) ②花き 1.9千ha / 254戸 (7.5ha/戸) ③果樹 1.7千ha / 256戸 (6.8ha/戸) ④畜産 3.0千ha / 434戸 (6.8ha/戸))	
専作経営 1.6千ha (1.1%) (①野菜 417ha / 159戸 (2.6ha/戸) ②花き 114ha / 43戸 (2.7ha/戸) ③果樹 382ha / 153戸 (2.5ha/戸) ④畜産 714ha / 119戸 (6.0ha/戸))			
今後育成すべき農業者 (5.4%)		8.0千ha / 5,194戸	
集落営農 (7.7%)		11.3千ha / 374組織	
その他農業者 (24.6%) 36.1千ha			

「攻めの農林水産業」を展開する担い手像

令和11年		担い手の集積率 (%)	90.0%
		うち認定農業者	83.8%
認定農業者 (29.5%) (法人) 42.2千ha 1,130法人	①土地利用型/集落型 (米、大豆主体) (14.3%) 20.4千ha/240法人 (85ha/法人) ②複合型/集落型 (水稲+野菜・花き等) (6.7%) 9.6千ha/160法人 (60ha/法人) ③土地利用型/個別 (米、大豆主体) (4.2%) 6.0千ha/300法人 (20ha/法人) ③複合型/個別 (水稲+野菜・花き等) (3.2%) 4.5千ha/180法人 (25ha/法人) ④園芸専作型 (野菜・花き・果樹) (0.7%) 1.050ha/150法人 (7ha/法人) ⑤畜産専作型別 (0.4%) 600ha/100法人 (6ha/法人)		
	認定農業者 (54.3%) (個別経営) 77.4千ha 6,630戸		
		水稲が主 (13.3%) 19千ha/950戸 (20ha/戸)	
		水稲+複合部門 (39.5%) 56.3千ha/5,120戸	
		(①野菜 44.0千ha/4,000戸 (11ha/戸) ②花き 3.3千ha/ 300戸 (11ha/戸) ③果樹 3.3千ha/ 300戸 (11ha/戸) ④畜産 5.7千ha/ 520戸 (11ha/戸))	
		専作経営 (1.5%) 2,100ha/560戸	
		(①野菜 570ha/190戸 (3ha/戸) ②花き 150ha/ 50戸 (3ha/戸) ③果樹 540ha/180戸 (3ha/戸) ④畜産 840ha/140戸 (6ha/戸))	
集落営農 (6.2%)		8.8千ha/138組織	
その他農業者 (10.0%)		14.3千ha	

誘導

新規就農者

第5編

経営モデル

- 1 経営モデル試算の主な前提条件

- 2 経営モデル・営農類型

第6編

参考資料

1 用語解説

2 目指す成果（指標）一覧

